

木製ストラップづくりに挑戦

2月16日（水）酒田市宮海字新林の西荒瀬保育園児を対象とした「木製ストラップづくりによる森林環境教育」を実施しました。

酒田地域は高気圧の影響で冬晴れの天気となり、2月としては暖かく青空の天气に恵まれました。

「木製ストラップづくりによる森林環境教育」には年長組園児38名、保育園先生3名、庄内森林管理署1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター3名、総勢45名で行いました。

「モックン」「森のクマさん」の2種類の木製ストラップづくりに園児の皆さんが挑戦しました。「モックン」の材料はオオバクロモジの幹と枝を使用し、「森のクマさん」の材料はヤマザクラの枝を輪切りにしたものを使用しました。

最初に「モックン」づくりから行い、材料選びでは顔が太いものや鼻が高いものなど、園児の皆さんの一人ひとりの個性がでるものであると関心しました。園児の皆さんの頑張りや金や銀の鈴を頭に乗せた、どれ一つとして同じものがない自分だけの「モックン」が出来上がりました。

次に「森のクマさん」づくりに挑戦しました。「森のクマさん」はヤマザクラの枝を輪切りにした材料選びでクマさんの表情に差がでるものですが、既成概念にとらわれず、サルやタヌキに似せたりアニメのアンパンマン風クマを作る園児もいて将来が楽しみになりました。約1時間の園児の皆さんの頑張りや、「モックン」「森のクマさん」が完成しました。

「モックン」「森のクマさん」を両手に持って、春が今すぐ飛んできてくれるような素晴らしい笑顔を見せてくれた園児の皆さんからは「みどりのおじさん、今までいろんなことを教えてくださりありがとうございます」という我々へのねぎらいの言葉を頂きました。担当者として何よりも嬉しく涙が出そうになりました。

最後に「モックン」「森のクマさん」と、とびっきりの笑顔で記念撮影して、みどりの保育園事業最終回、木製ストラップづくりを終了しました。

